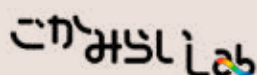


五霞町の魅力を “見えるカタチ”にする活動



道の駅ごかを起点に、 地域の魅力をカタチにする1年



ごかみらいLabは令和7年度に一般社団法人として設立し「農・工・商の仲介役」として、人と人をつなぎ、道の駅ごかを拠点に五霞町の魅力を発信しました。地域食材を活かした商品開発、体験企画、外部販路への挑戦など、地域の力を結集した1年となりました。また、町に愛着を持つこどもたちの育成、キャリア教育や生涯学習にも力を入れ、未来ある町のこどもたちを応援サポートしています。

五霞町の素材を“新しいカタチ”へ

令和7年度までの3年間、地域活性化起業人として活動していただいた、ABC Cooking Studio 大澤真理子さんと連携し、五霞町産のお米やさつまいもを使った6次化商品の開発を進めました。

商品紹介

米粉・さつまいもを活かした商品開発の広がり

五霞町の米粉100%使用した「KOMERONクッキー」を期間限定で販売。
町の米粉を使った新商品として、道の駅ごかで販売を実施。地元産米粉の魅力を伝える新たなスイーツとして好評でした。



「KOMERONクッキー」の販売に加え、令和7年度は、さつまいもを活かした新商品の試験販売イベント「Lab芋フェア」を2回開催しました。

第1弾ではキッチンカーを導入し、道の駅ごかを訪れた幅広い来場者にPR。スイートポテトや焼き芋チーズケーキなどが好評で、販売データをもとに今後の6次産業化商品開発に向けたテストマーケティングを進めました。第2弾では道の駅の賑わいづくりと地域素材の魅力発信を強化。町のさつまいもを使った商品ラインナップの可能性がさらに広がる1年となりました。